

【がん種】 [非ホジキンリンパ腫](#)
【レジメン名】 R-CVP
【登録番号】 011113
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 8コースまで
【催吐性リスク】 中等度:エンドキサン、最小度:オンコビン、最小度:リツキシマブBS
【抗がん剤の組織障害性】 ビシカント(起壊死性):オンコビン(漏出時の冷却禁止, 漏出時のステロイド局注禁止)、イリタント(炎症性):エンドキサン、ノンビシカント(非壊死性):リツキシマブBS
【投与量に制限のある薬剤】 オンコビン:1回に2mg/bodyまで
【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 Blood 105:1417-1423, 2005. J Clin Oncol 26:4579-4586, 2008.

【点滴の時間】 [day1]初回約5時間, 2回目～約4時間、[day3]2時間35分
【費用】 編集中
【その他】 対象患者:CD20+のB細胞性非ホジキンリンパ腫. エンドキサン:調製後6時間以内に投与を終了する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日												
					1	2	3	4	5	6	7	...	21				
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○												
2	アセトアミノフェン錠 200mg	3 錠/回	内服	1日1回 リツキシマブBS投与30分前	○												
3	生理食塩液 50mL ソル・コーテフ注射用 100mg ポラミン注 5mg/1mL	1 B 1 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○												
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○												
5	生理食塩液 500mL リツキシマブBS点滴静注「KHK」	- mL 375 mg/m ²	側管	1mg/mLの濃度に調製 初回 50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで 2回目～ 100mL/hで開始し、30分毎に100mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで	○												
6	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ				○									
7	グラニセトロン点滴静注液(バッグ) 3mg/100mL 水溶性プレドニン 50mg	1 B 2 A	側管	30分				○									
8	生理食塩液 50mL オンコビン注射用	1 B 1.4 mg/m ²	側管	全開				○									
9	生理食塩液 250mL 注射用エンドキサン 調製開始から6時間以内に投与終了	1 B 750 mg/m ²	側管	1時間				○									
10	プレドニン錠 5mg	20 錠/回	内服	1日1回朝食後					○	○	○	○					